

# 多くの働く仲間が集う 連合だからできること

## 連合は日本最大のナショナル・センター

連合は、1989年に結成された日本のナショナル・センターであり、生保労連を含む47の産業別労働組合組織と47の地方連合会からなる約700万人の組合員とともに活動をしています。

連合は様々な活動を行っていますが、組合員のみなさんの働く現場の実態を把握し、課題を改善していくことを取組みのベースとしています。



▲村上副事務局長

## 「みんなの春闘」で働く仲間の賃上げに取り組む

連合の春闘では、賃金水準にこだわり、格差是正をめざして加盟産別全体で賃上げに取り組む「みんなの春闘」を重視しており、こうした取組みが最低賃金の引上げや組合のない職場で働く人々にも波及していくことをめざしています。

2024春季生活闘争では、経済社会のステージ転換を着実に進めるべく、すべての働く人の生活を持続的に向上させるマクロの観点と各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取組み



▲栗山次長（当時）

強化を促す観点から、前年を上回る賃上げをめざして取組みを行った結果、幅広い産業で積極的な賃上げ要求と成果獲得につながりました。

## 連合だからこそできる政府への働きかけ

連合では、勤労者の立場からの政策の立案・提言を行い、政府への働きかけや、審議会参画、世論喚起、国会対策等を行う政策実現活動を行っています。

右図給与明細のサンプルを見ていただくと、実線囲みの部分は前述の春闘等を通じた会社との交渉により変化する部分となりますが、点線囲みの部分は政府・政党への要求を通じて変化する部分となります。

たとえば、国の法案審議で、われわれ労働者にとって不利な内容とならないよう、連合では政府・政党への要請を行うとともに、労働者・生活者の代表として審議会での意見表明等を通じ、一つの企業別労働組合や産業別労働組合では実現が難しい課題の解決に向けて取り組んでいます。

生保労連は、6月24日の第3回単位組合委員長会議に、連合の村上陽子副事務局長、生保労連特別中央執行委員で連合に出向している栗山祐太次長をお招きし、連合の活動の見える化に関するご講演をいただきました。

そこで、連合運動がどのようにわれわれに関係しているのかについて、賃金・労働条件の分野、政策実現活動の分野に分けて、当日の講演内容を一部ご紹介したいと思います。

### ▼給与明細サンプル

給与明細		会社・使用者との交渉							
支給区分	支給年月								
氏名	計算期間	出勤	休出	欠勤	遅早	就業時間/分	残業時間/分		
		20	0	0	0	140 00	10 00		
支給額	基本給	精勤手当	営業手当	出張手当	交通費	その他			
	200,000	5,000			10,000				
控除額	残業手当	深夜手当	休日出勤	欠勤控除	遅早控除	支給合計			
	20,000					235,000			
備考	健康保険	雇用保険	厚生年金	介護保険	所得税	住民税			
	12,228	705	21,960		1,395	4,300			
	旅行積立					控除合計			
						40,588			
						差引支給額	194,412		

### 政府・政党への要求＝政策実現行動